

2021年9月期第2四半期 決算説明会

2021年5月26日

代表取締役社長 野崎 秀則



株式会社

オリエンタルコンサルタンツホールディングス

プレゼンテーション・アウトライン

- I： 当社グループのご紹介
- II： 今回の決算説明会のポイント
- III： 2021年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト
- IV： 2021年9月期 通期業績見通し

I：当社グループのご紹介



ORICON HD

(1)当社グループのあゆみ

(株)オリエンタルコンサルタンツを中心に、
着実に成長してまいりました。

1957年	○(株)オリエンタルコンサルタンツ創立 (道路、鉄道等のコンサルタント事業で発展)
1999年～	○オリコンサルグループを形成 ○株式公開 (現JASDAQ)
2006年～	○オリコンサルグループを継承し、(株)ACKグループを設立 ○(株)オリエンタルコンサルタンツの海外事業を大幅に拡大 ○グループとしての価値観を共有できる、さまざまな企業の参画
2018年～	○(株)オリエンタルコンサルタンツホールディングスに社名変更

1957年～



1999年～



2006年～



2018年～



(2) 当社グループの提供サービス

国内外の社会インフラを中心に、
企画・提案～計画・設計～建設・監理～運営・保全まで、
多様なサービスを、ワンストップで提供しています。



【イメージ】当社グループが対象とする社会インフラ(抜粋)

(3)グループ会社の紹介

多様な専門技術を保有している6社を中心に運営しています。

会社名	創立	主な技術サービス・商品
(株)オリエンタルコンサルタンツ	1957年	交通・都市・地域・環境・構造・防災・プロジェクトマネジメント など
(株)オリエンタルコンサルタンツ グローバル	2014年	道路・鉄道・港湾・空港・地域開発 経済及び産業開発計画 など
(株)アサノ大成基礎エンジニアリング	1962年	地質・土質・地盤、調査・構造、さく井、 地下水、建造物解体、施工 など
(株)中央設計技術研究所	1947年	上下水道・廃棄物・環境調査・計画・ 設計・施工管理・維持管理 など
(株)エイテック	1968年	建設・交通に関する調査・設計・監理・ 測量・計器類 など
(株)リサーチアンドソリューション	1978年	アプリソフトウェア開発・販売、 バックオフィスソリューション など

主要な連結会社を記載

Ⅱ：今回の決算説明会のポイント



今回の決算説明会のポイント

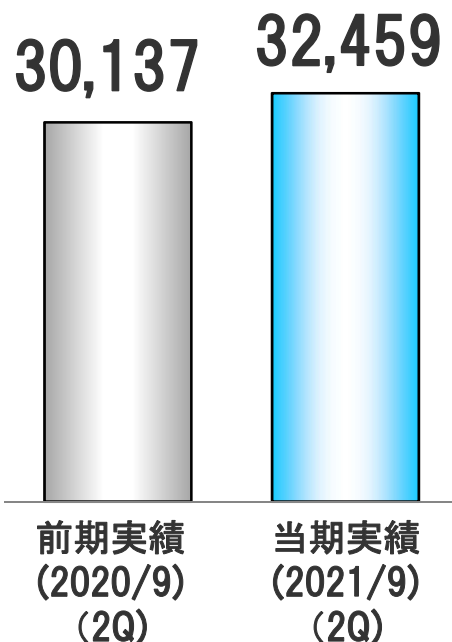
1

■コロナ禍においても
上期の売上高、利益は**過去最高**を更新

単位：百万円

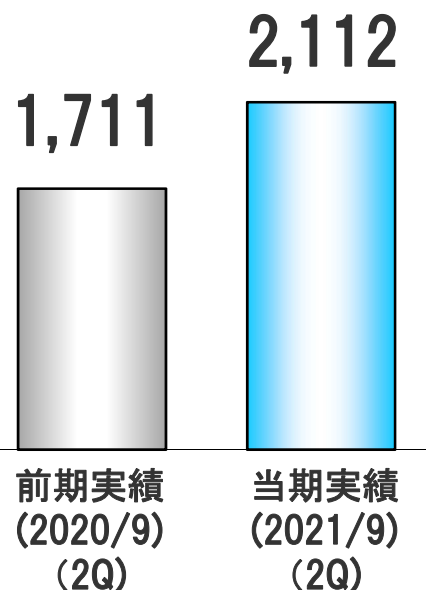
<売上高>

前期比 7.7%増



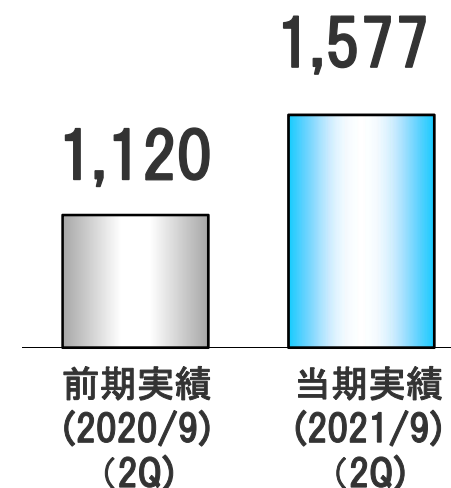
<営業利益>

前期比23.4%増



<純利益>

前期比 40.7%増

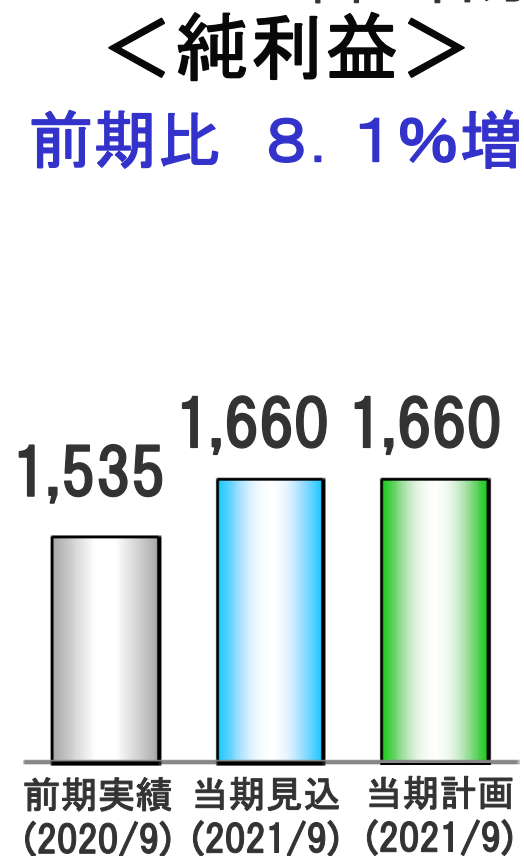
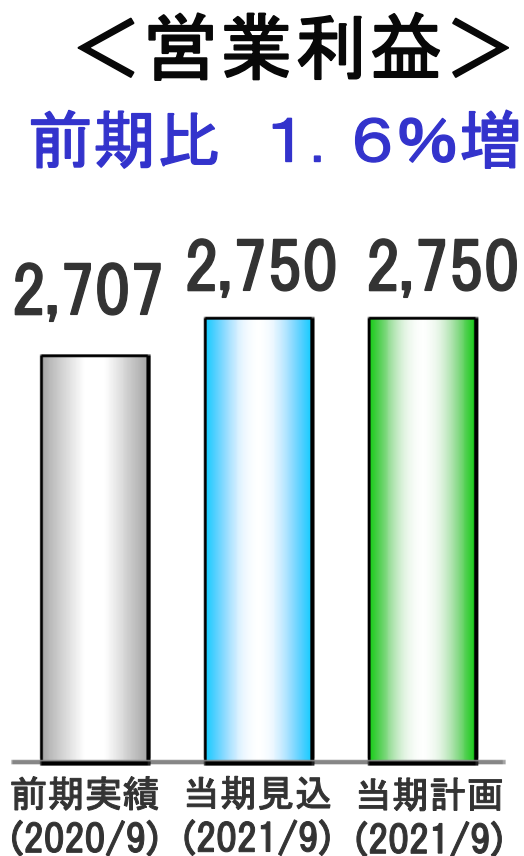
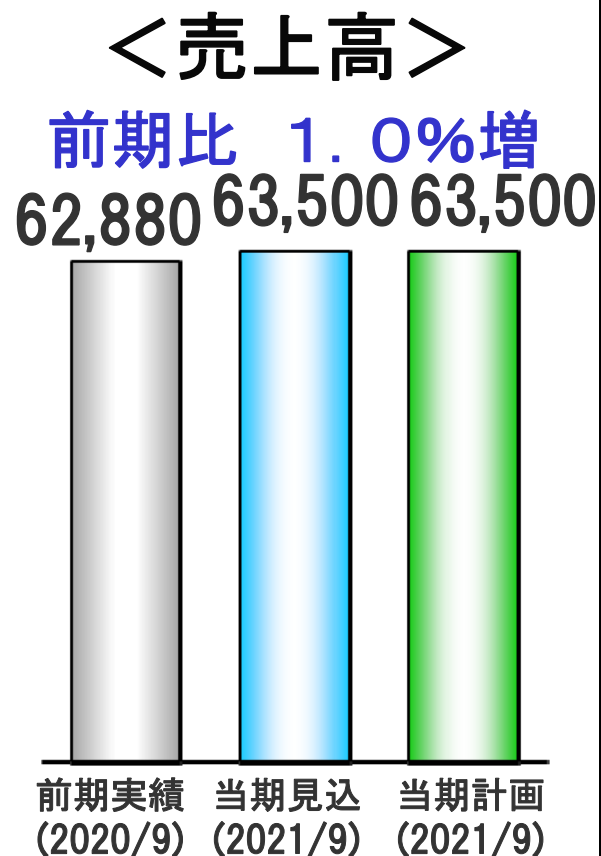


今回の決算説明会のポイント

2

- 通期の連結業績見通しに変更なし
- 通期も売上高、利益は**過去最高**を更新見込

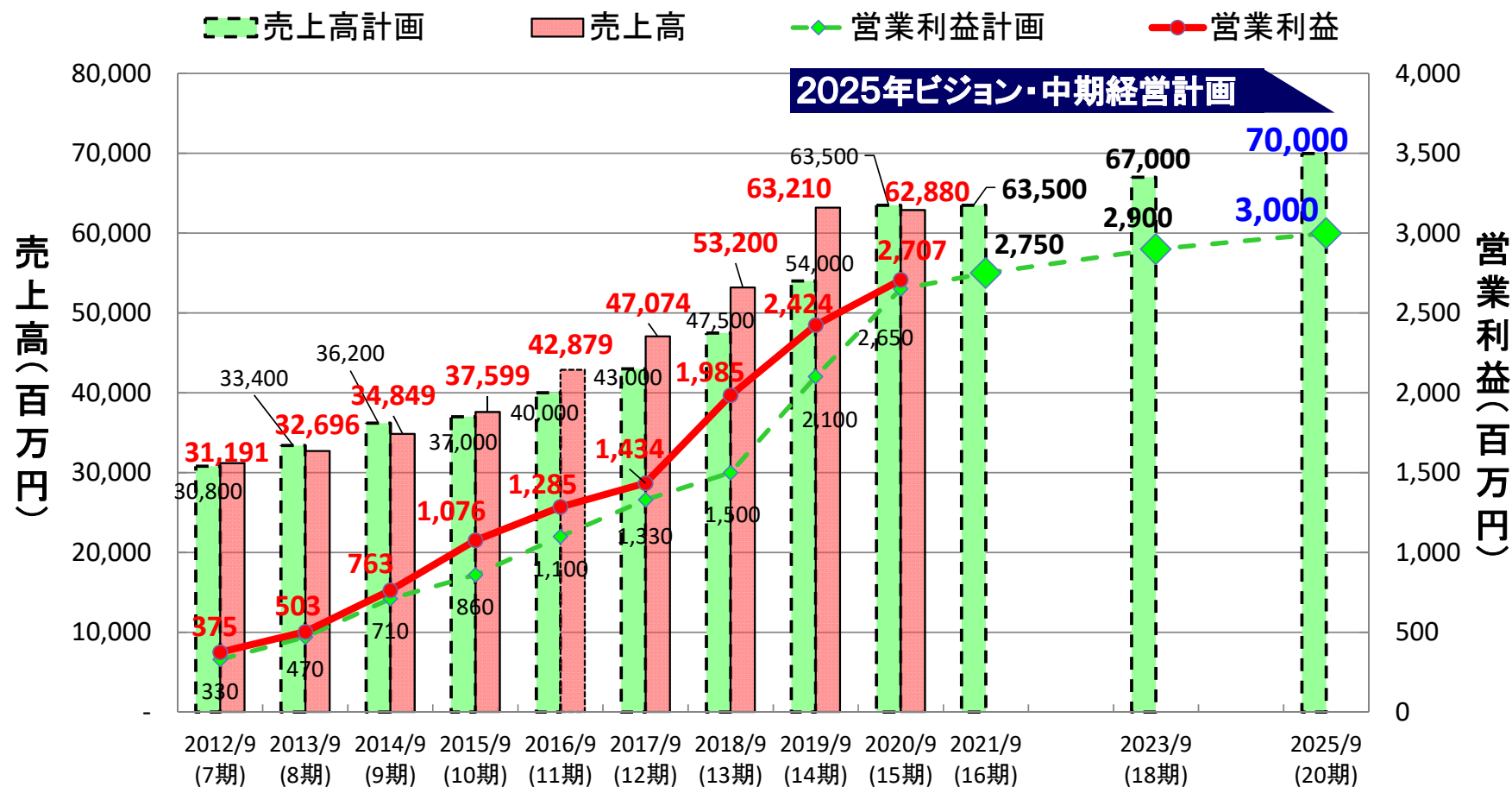
単位：百万円



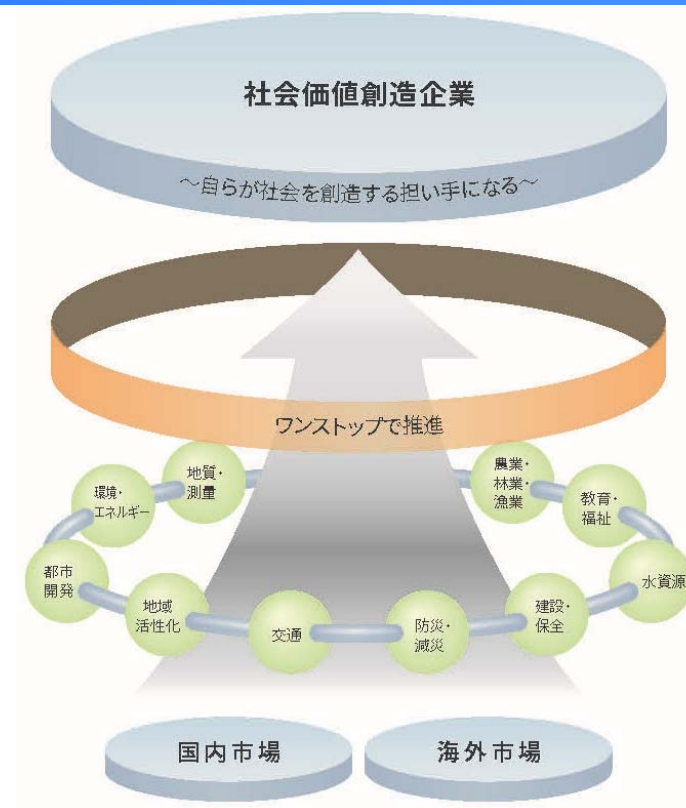
今回の決算説明会のポイント

3

■2025年中期経営計画の目標達成に向け、 順調に収益を上げ成長



Ⅲ:2021年9月期 第2四半期業績・成果ハイライト





1. 2021年9月期 第2四半期業績

(1)連結受注高

- 受注高は、前期比で232億円(38.3%)減少し、374億円
- 受注残高は、32億円(2.1%)増加し、1,538億円

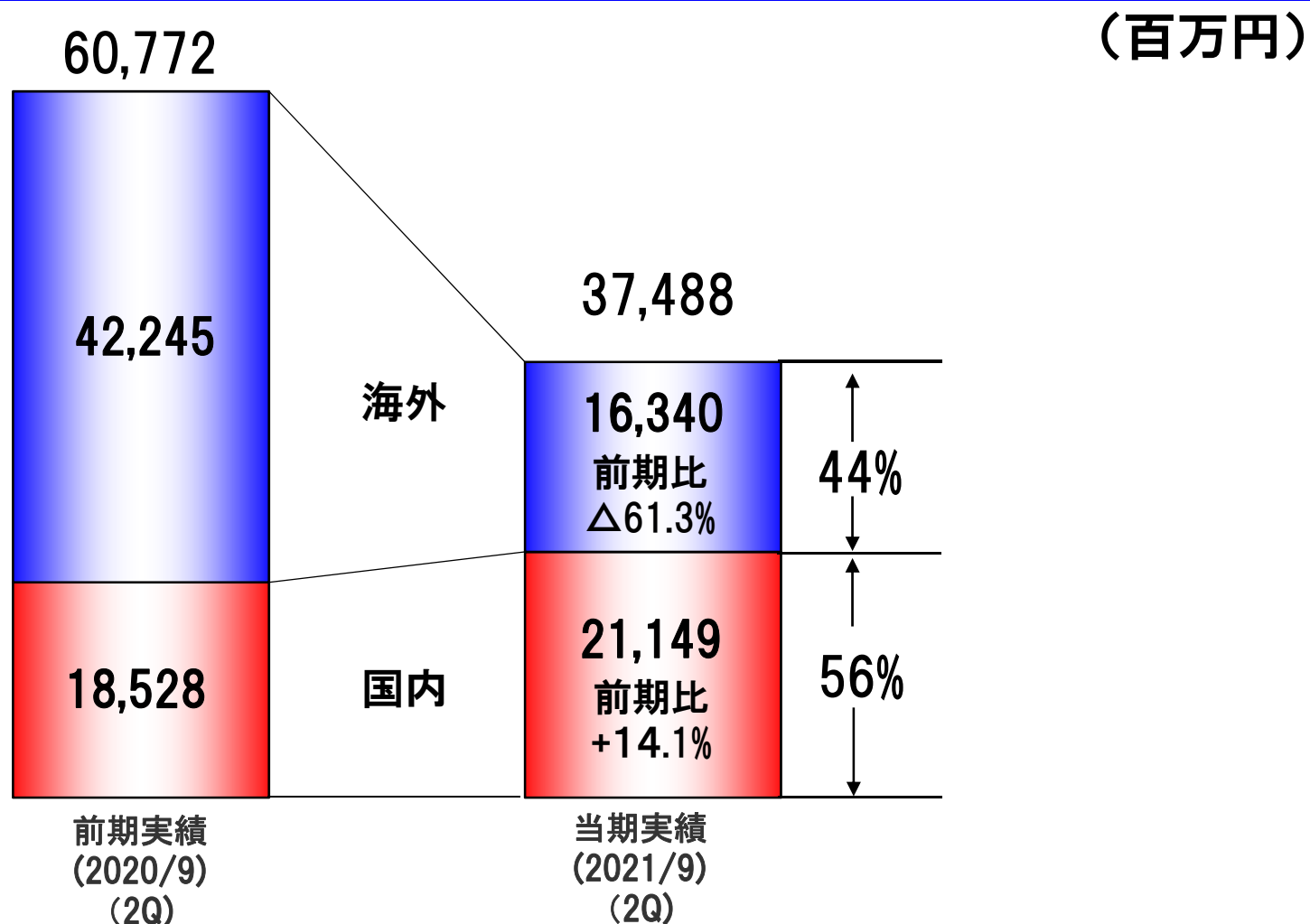
➤ 受注残高も確実に増加し、今後の売上に貢献

	(百万円)		
	前期実績 (2020/9(2Q))	当期実績 (2021/9(2Q))	増減
受 注 高	60,772	37,488	△23,283 (△38.3%)
受注残高 [※]	150,627	153,841	↑ + 3,213 (+ 2.1%)

※受注残高：受注済で、将来、売上可能な総額

(2)連結受注高 国内外市場別

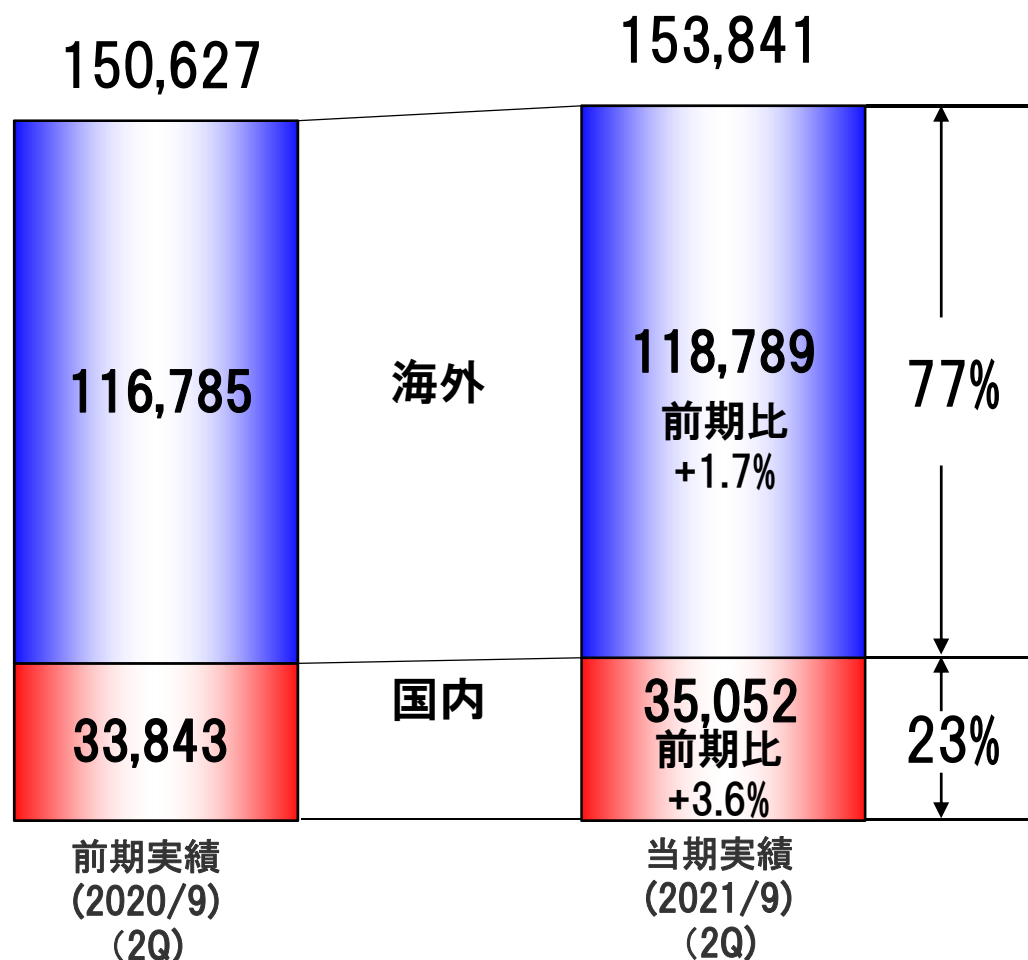
- 国内は、防災・減災、道路・河川・港湾等維持管理が堅調
- 海外は、前期に過去最高の超大型案件(約350億円)を受注



(3)連結受注残高 国内外市場別

■国内外とも売上高を上回る受注高で、受注残高が確実に増加

(百万円)



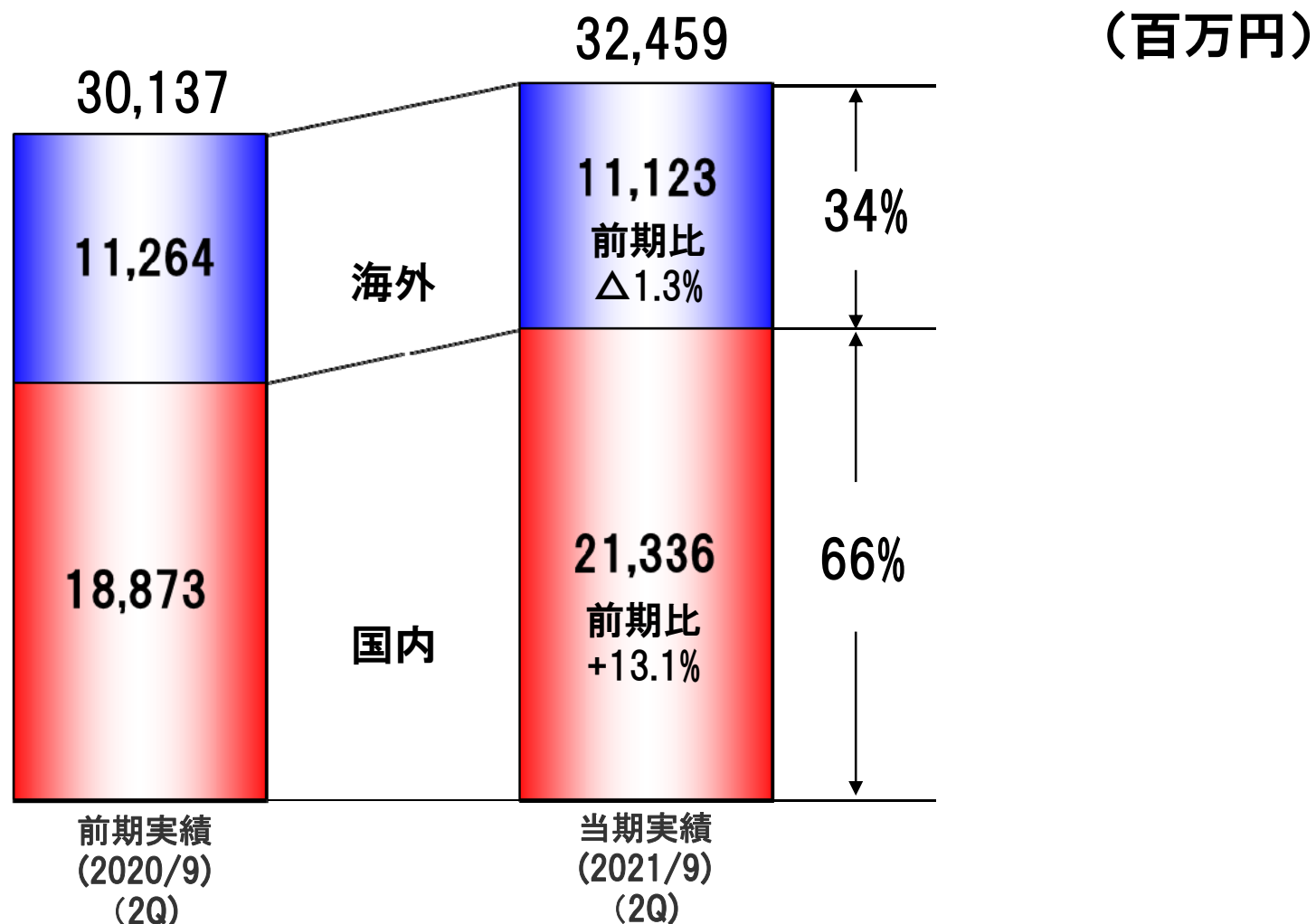
(4)連結売上高、利益

- 売上高、営業利益、経常利益、純利益とも増加
- 上期の売上高、利益は過去最高を更新

	(百万円)		
	前期実績 (2020/9(2Q))	当期実績 (2021/9(2Q))	増減
売上高	30,137	32,459	↑ +2,322 (+ 7.7%)
営業利益	1,711	2,112	↑ +400 (+23.4%)
経常利益	1,693	2,345	↑ +652 (+38.6%)
当期純利益	1,120	1,577	↑ +457 (+40.7%)

(5)連結売上高 国内外市場別

- 国内は、新型コロナウイルスの影響軽微で引き続き拡大
- 海外は、外出禁止や渡航禁止等の影響により減少するも、回復傾向



2. 2021年9月期 第2四半期成果ハイライト



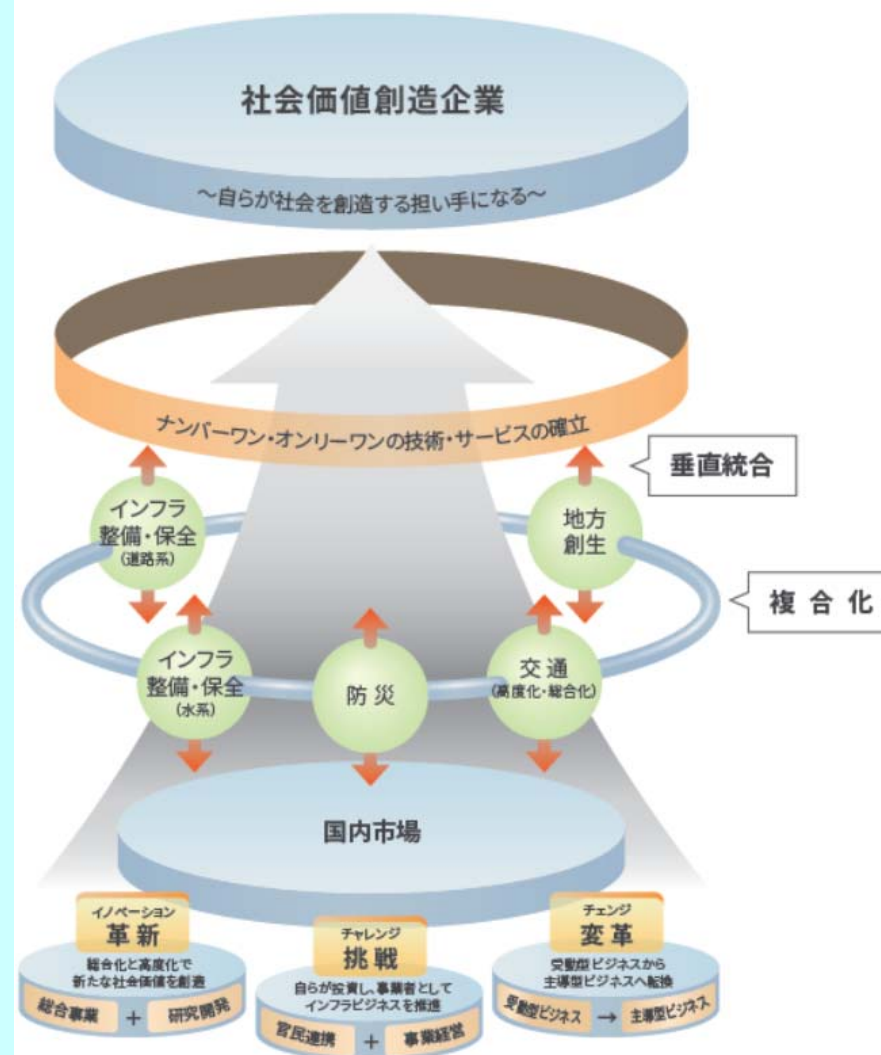
(1)事業創造・拡大(国内市場の競争力強化)

■5つの重点化事業の推進により、
ナンバーワン・オンリーワンを確立

- ①インフラ整備・保全(道路系)
- ②インフラ整備・保全(水系)
- ③防災
- ④交通(高度化・総合化)
- ⑤地方創生

■総合事業、研究開発を推進し、
新たな社会価値を創造

■グループ連携により、
エリアマネジメントを全国に展開



(2)事業創造・拡大(海外市場の競争力強化)

■海外の国家的プロジェクトに
総合力で貢献

■5つの重点化事業の推進等により、
ナンバーワン、オンリーワンの
グローバル企業グループを確立

⑥民間事業

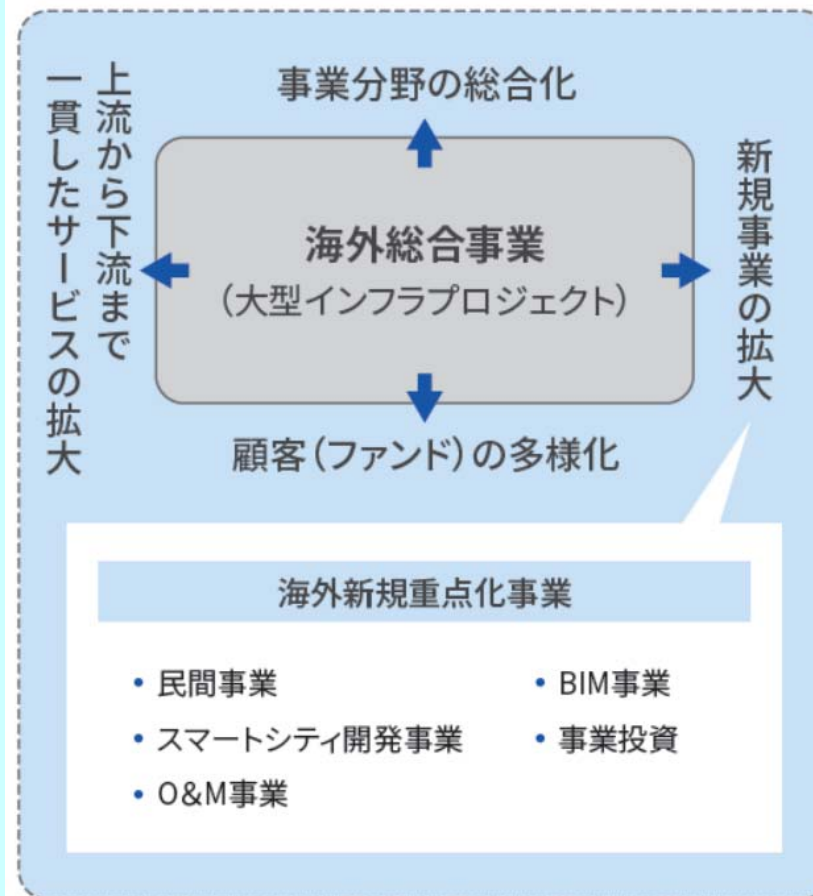
⑦スマートシティ開発事業

⑧O&M^{※1}事業

⑨BIM^{※2}事業

⑩事業投資

■グループ連携により、
海外拠点整備や新たな
グローバルビジネスを世界に展開



※1 「O&M」とは、オペレーション&メンテナンスの略で、運転管理業務、維持管理業務を行う事業のこと

※2 「BIM」とは、Building Information Modeling(ビルディング インフォメーション モデリング)の略称で、設計から施工、維持管理の各段階の3次元モデルを連携・発展させ、効率化・高度化を図ること

(3)事業創造・拡大(重点化事業)

■2021年9月期は、102件以上の重点化プロジェクトを実施中

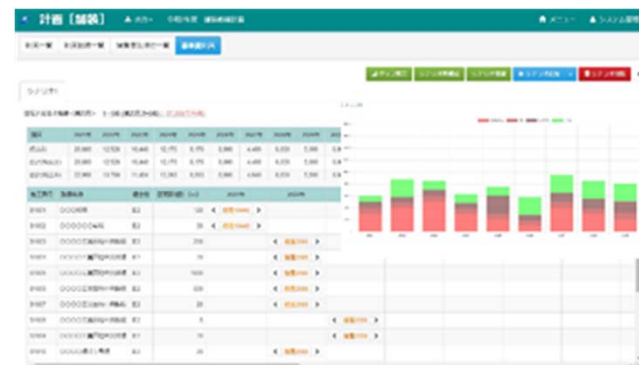
重点化事業			重点化PJ					
			2020年9月期 (実績)			2021年9月期 (現時点)		
			OCHD	各社	計	OCHD	各社	計
国内	①	インフラ整備・保全(道路系)	5	18	23	5	14	19
	②	インフラ整備・保全(水系)				2	10	12
	③	防 災	2	8	10	3	7	10
	④	交 通(高度化・総合化)	2	13	15	4	17	21
	⑤	地方創生	3	25	28	3	31	34
海外	⑥	民間事業	6	1	7	1		1
	⑦	スマートシティ開発事業				1		1
	⑧	O&M事業				1		1
	⑨	BIM事業				2		2
	⑩	事業投資				1		1
合 計			18件	65件	83件	23件	79件	102件

(4)国内事業

<インフラ整備・保全(道路系)>

■インフラマネジメント支援システム(橋梁版、舗装版)」の開発

- ・維持管理のマネジメントを最適化する「インフラマネジメント支援システム(橋梁版、舗装版)」を開発
- ・維持管理領域におけるデジタル化を目指し、DX事業の一環として推進



システムの画面イメージ

■施工段階におけるBIM/CIM※ 支援や点検技術を高度化・総合化

- ・ホロレンズの活用など、施工段階でのBIM/CIM※ 支援の高度化・総合化を推進
- ・「球体ガード付き全球360°カメラ搭載UAV(ドローン)」の開発など、橋梁等の点検技術を高度化

※ 「BIM/CIM」とは、設計から施工、維持管理の各段階の3次元モデルを連携・発展させ、効率化・高度化を図ること



上段:ホロレンズ活用イメージ
下段:球体ガード付きUAV



株式会社 エイテック
Advanced Technology Enables Comfortable Life

注) 球体ガードは、PAUI(株)製を使用

(5)国内事業

<インフラ整備・保全(水系)>

■DBO*方式に参画した青木浄水場が完成(新潟県見附市)

- ・新潟県初のDBO*方式による青木浄水場の設計・建設、運営・維持管理事業に参画、施設が2021年4月に完成
- ・今後も20年にわたり運転維持管理に参画

※「DBO」とは、設計(Design)と建設(Build)及び運営(Operate)を一括して行う方式

CHUOU 株式会社 中央設計技術研究所
人にも自然にも優しい



青木浄水場 完成式典

<防災>

■建設技術展示館にAI 礫判読システム『グラッチェ』が展示

- ・2020年12月2日オープン建設技術展示館(国土交通省)に、最新技術としてAI礫判読システム『グラッチェ』が展示
- ・国土交通省の複数の砂防事務所の業務で活用、今後も砂防事業の高度化・効率化を推進



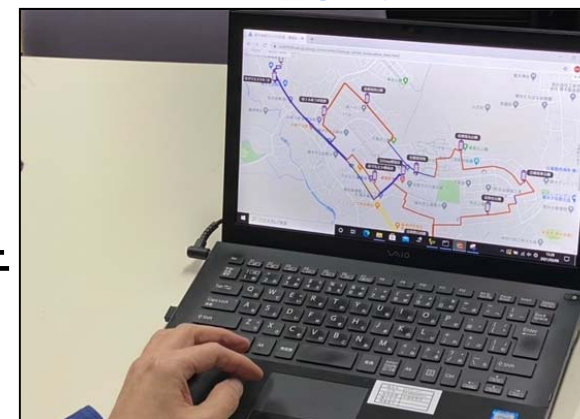
関東地方整備局 関東技術事務所
建設技術展示館 展示の様子

(6)国内事業

<交通(高度化・総合化)>

■バスなか見守りサービス・バス位置情報提供サービスを開発

- ・安心・安全にバスを利用できるサービス、利用者の利便性向上と運行管理の効率化を可能にするサービスを開発
- ・厚木市の地域コミュニティ交通「ココモ」に試行導入し、本格的な運用に向けた検証を実施



位置情報提供の様子



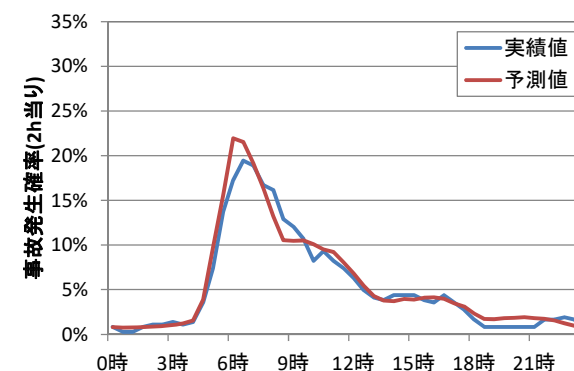
株式会社 オリエンタルコンサルタンツ



Research & Solution
株式会社 リサーチ アンド ソリューション

■AIを用いた近未来の交通事故リスクのオンライン予測技術を開発

- ・(株)エクサウィザーズ様と共同で、AIを活用した近未来の交通事故リスクをオンラインで予測する技術を開発
- ・2時間先までの事故発生確率が予測可能、今後の事故抑止、道路管理高度化に活用



精度検証結果の例: 5号池袋線
美女木JCT～板橋JCT(上り)



株式会社 オリエンタルコンサルタンツ

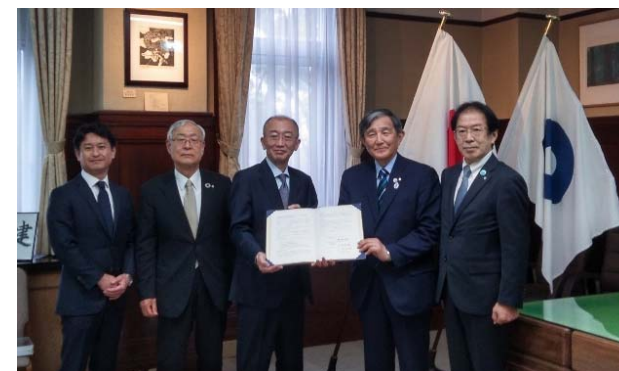
(7)国内事業

<地方創生>

■南紀白浜空港に隣接するワーケーション施設の整備・運営事業

(和歌山県白浜町)

- ・優先交渉権者に選定され、2021年3月に基本協定を締結
- ・今後、実施設計や各種手続きに着手し、2022年6月の施設開業を目指して事業を推進



基本協定調印式の様子

■南アルプス山岳観光予約システムを開発(観光DXを推進)

(山梨県南アルプス市)

- ・南アルプス市観光協会様と連携しシステムを開発、2021年5月より運用を開始
- ・新型コロナウイルス感染症対策や観光利便性向上等の課題解決、地方創生に向けた取組みを推進



南アルプス山岳観光予約システムの画面イメージ

(8)海外事業

＜海外総合事業＞

■鉄道、港湾、道路など総合的なセクターで事業を実施

(マニラ首都圏地下鉄事業(フィリピン国))

- ・フィリピンで初となる地下鉄事業において、本事業の入札支援、施工管理等のコンサルタント業務を受注、先行工区が2022年、残り工区が2025年の供用開始を目指し推進中



鉄道車両

(パティンバン港開発事業(インドネシア国))

- ・計画立案時から施工監理業務を担当しているパティンバン港が2020年12月に一部完成・ソフトオープンを祝う式典が開催、インドネシア最大級の港湾の完成を目指し推進中



完成した港湾の様子

(ハノイ市環状3号線整備事業(ベトナム国))

- ・施工監理業務を担当しているハノイ市環状3号線整備事業のマイジック-南タンロン間が開通、本区間の開通により、交通渋滞の緩和、都心部への移動時間短縮が期待



開通した道路の様子

(9)海外事業

<民間事業>

■日本初のアトランティックサーモン生産・加工施設設計業務を受注

- ・三重県津市の工業団地内に、日本初となるアトランティックサーモンの陸上養殖施設を建設する事業において、コンソーシアム代表のユクセル社(トルコ共和国)とともに設計業務を受注



陸上養殖施設の完成イメージ

<O&M事業>

■鉄道訓練センター設立・運営能力強化支援PJを推進(フィリピン国)

- ・フィリピン鉄道訓練センターの設立・運営、制度設計、指導員の採用・育成、研修教材の整備、研修の実施等の支援を2018年5月から実施
- ・2020年4月から「O&M推進室」を設置し、O&M事業の拡大をさらに推進



国営鉄道訓練センター完成イメージ

(10)海外事業

＜スマートシティ開発事業＞

■スマートシティ実現のための調査業務を受注（ラオス国）

- ・ラオス国ルアンパバーン（世界遺産）におけるスマートシティ実現に向けた具体的案件形成調査業務を受注
- ・国土交通省が派遣するコンサルタントとして、今後、スマートシティに関するプロジェクトパッケージとなるマスタープランを検討



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル



ルアンパバーンの街並み

■スマートシティ開発のためのモビリティ開発戦略を受注（ベトナム国）

- ・ベトナム国ハノイ市北部においてスマートシティ開発におけるモビリティ開発戦略を受注
- ・モビリティの観点から、安全で健康的なライフスタイルや、接続性やアクセス性に優れた計画等を戦略テーマとし、段階的な開発戦略を検討



本開発で実現を目指すライフスタイルスケッチ



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル

(11)海外事業

<BIM事業>

■フィリピン国鉄道事業で全路線へのBIM導入を実施(フィリピン国)

- ・フィリピン国での鉄道事業において全路線へのBIM導入を実施し、次世代O&Mの取り組みを推進
- ・今後、その他の鉄道事業や道路、建築事業においても、BIMの導入を展開



BIM設計イメージ(駅)

<事業投資>

■米国コネクテッドカーを利用した道路インフラメンテナンス事業を推進

- ・米国での道路インフラメンテナンス関連事業を展開するため、パシフィックコンサルタンツ、ソフトバンクと合併会社を設立
- ・今後、コネクテッドカーから得られるビッグデータの解析等により、米国道路管理者へ事業を展開



路面性状データ取得の様子

(12)外部評価①

■ ジャパン・レジリエンス・アワード2021にて優秀賞を2案件受賞

- ・建設コンサルタント会社として唯一2案件同時受賞
- ・①「コロナ禍を考慮した6年連続となる防災シンポジウムの企画・運営」
- ・②「山間部の溪流調査を効率的に実施するための総合支援」



表彰式の様子

■ 海外インフラプロジェクト技術者認定・表彰 国土交通大臣賞を受賞

- ・南條氏は、「インドネシア共和国・ジャカルタ都市高速鉄道事業・施工監理コンサルタンツ業務」での実績が高く評価され、海外インフラプロジェクトに従事した本邦企業で特に優秀な技術者として、国土交通大臣賞を受賞



表彰式の様子

(13)外部評価②

■ 日建連表彰2020において第1回土木賞を受賞

- ・設計に関わった「阪神高速道路大和川線シールドトンネル工事」が、(一社)日本建設業連合会主催の日建連表彰2020で第1回土木賞を受賞
- ・本設計では、実物大模型実験を併用し、スムーズな避難行動が可能な避難設備を実現



トンネル完成イメージ

■ 「第2回コンパクトなまちづくり大賞」の理事長賞を受賞

- ・基本的な機能及び配置計画を検討し、事業手法を検討した野々市中央地区(石川県野々市市)が、「第2回コンパクトなまちづくり大賞」個別事業部門 都市みらい推進機構理事長賞を受賞

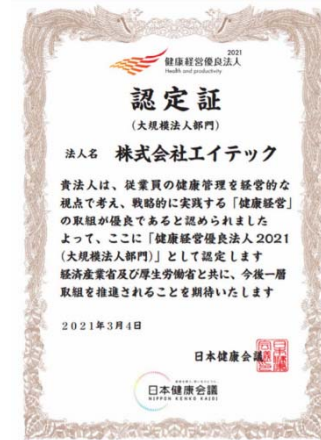


文化交流拠点施設

(14) 魅力ある企業に向けた活動

■『健康経営優良法人(大規模法人部門)』に2年連続認定

- ・エイテックは、社員が健康でイキイキと最高のパフォーマンスを発揮して働いている“絶好調な会社”を目指した健康経営の取り組みが評価され、経済産業省より2020年、2021年の2年連続で認定
- ・今後も、さらに健康増進に向けた様々な取り組みにより 健康経営を推進



認定証

■農園収穫物を「子ども食堂」に提供

- ・オリエンタルコンサルタンツグローバルは、障がい者雇用の一環として「わーくはぴねす農園」で収穫された野菜を「新宿ニコニコ子ども食堂」へ提供
- ・ひとり親世帯や経済的困難を抱える子どもがいる家庭の支援を行っている「新宿ニコニコ子ども食堂」の活動を支援



提供した野菜
(わさび菜と小松菜)

IV:2021年9月期 通期業績見通し



(1)受注環境

■国内、海外とも当面**良好な受注環境が継続**

国 内

■「**国土強靱化5か年加速化対策**」が**予算化**され、
当面**良好な受注環境が継続**

海 外

■**発展途上国でのインフラ整備の需要は**
依然旺盛であり、当面**良好な受注環境が継続**

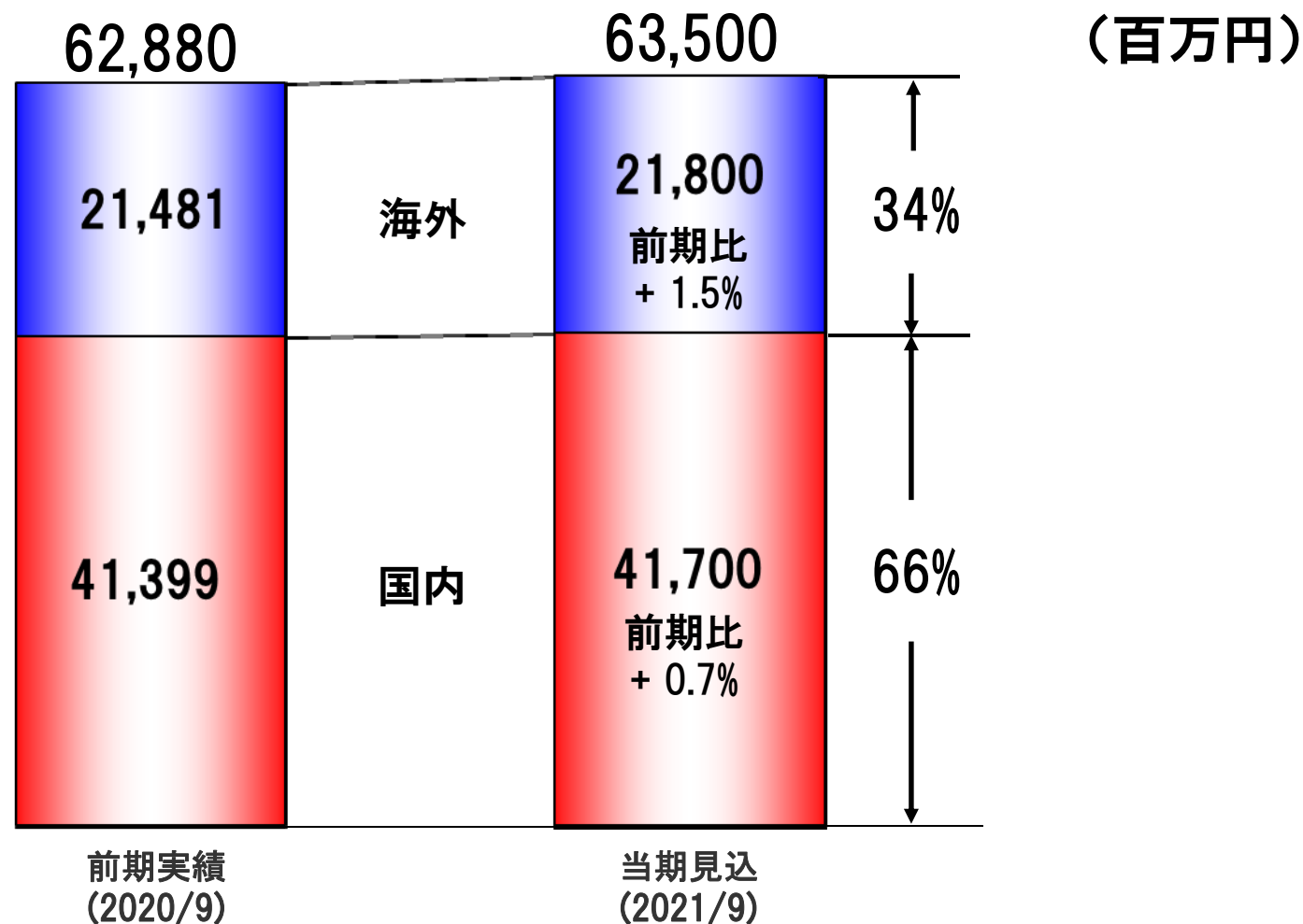
(2)通期業績見通し

- 通期の連結業績見通しに変更なし
- 通期も売上高、利益は過去最高を更新見込

	前期実績 (2020/9)	当期見込 (2021/9)	増減	(百万円) 当期計画 (2021/9)
売上高	62,880	63,500	↑ + 620 (+1.0%)	63,500
営業利益	2,707	2,750	↑ + 43 (+1.6%)	2,750
経常利益	2,538	2,660	↑ + 122 (+4.8%)	2,660
当期純利益	1,535	1,660	↑ + 125 (+8.1%)	1,660

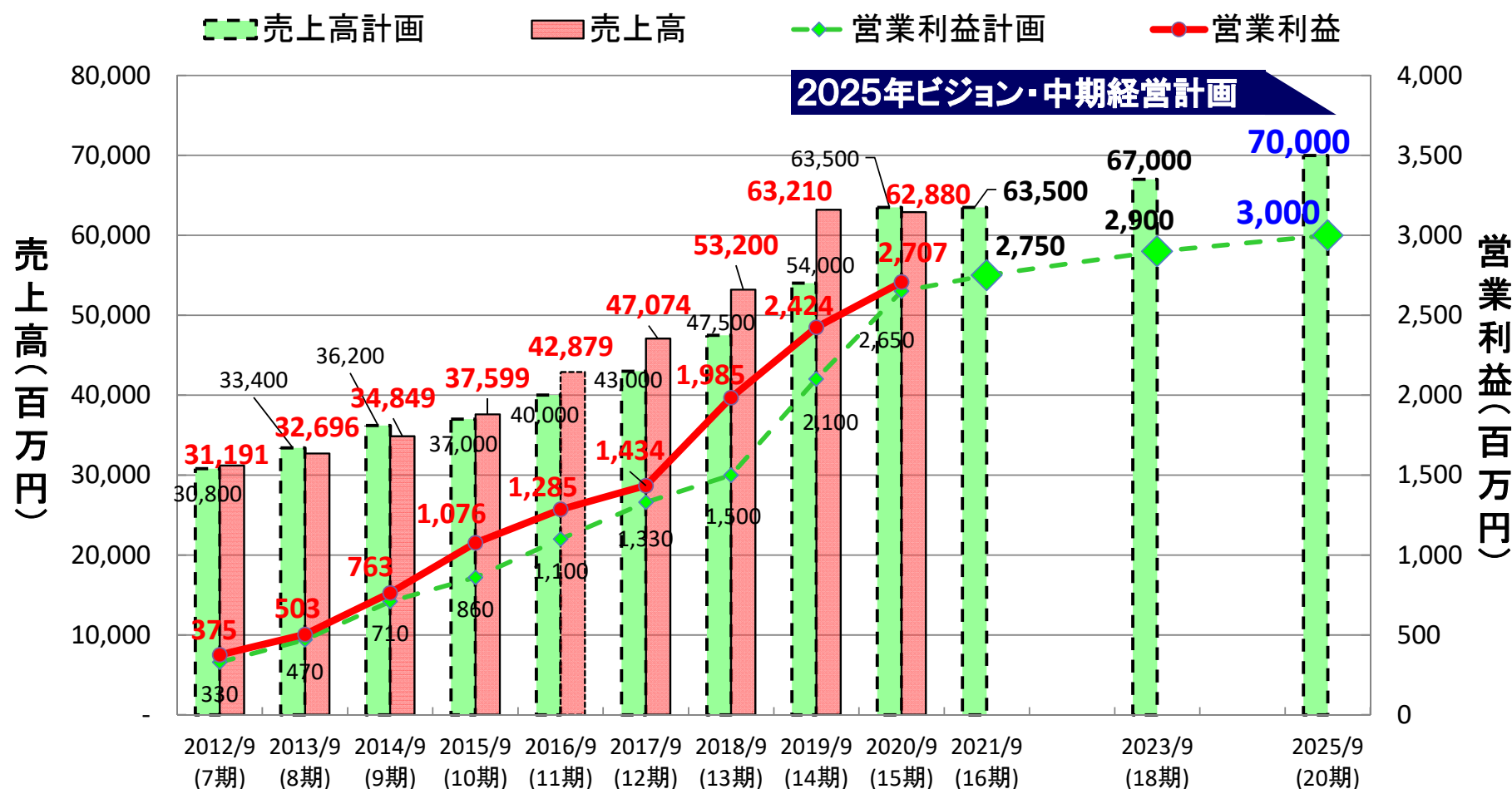
(3) 2021年9月期 連結売上高 国内外市場別

- 国内、海外ともに、前期実績を上回る売上高の見込み
- 下期の海外の新型コロナウイルスの影響は前期より改善の見込



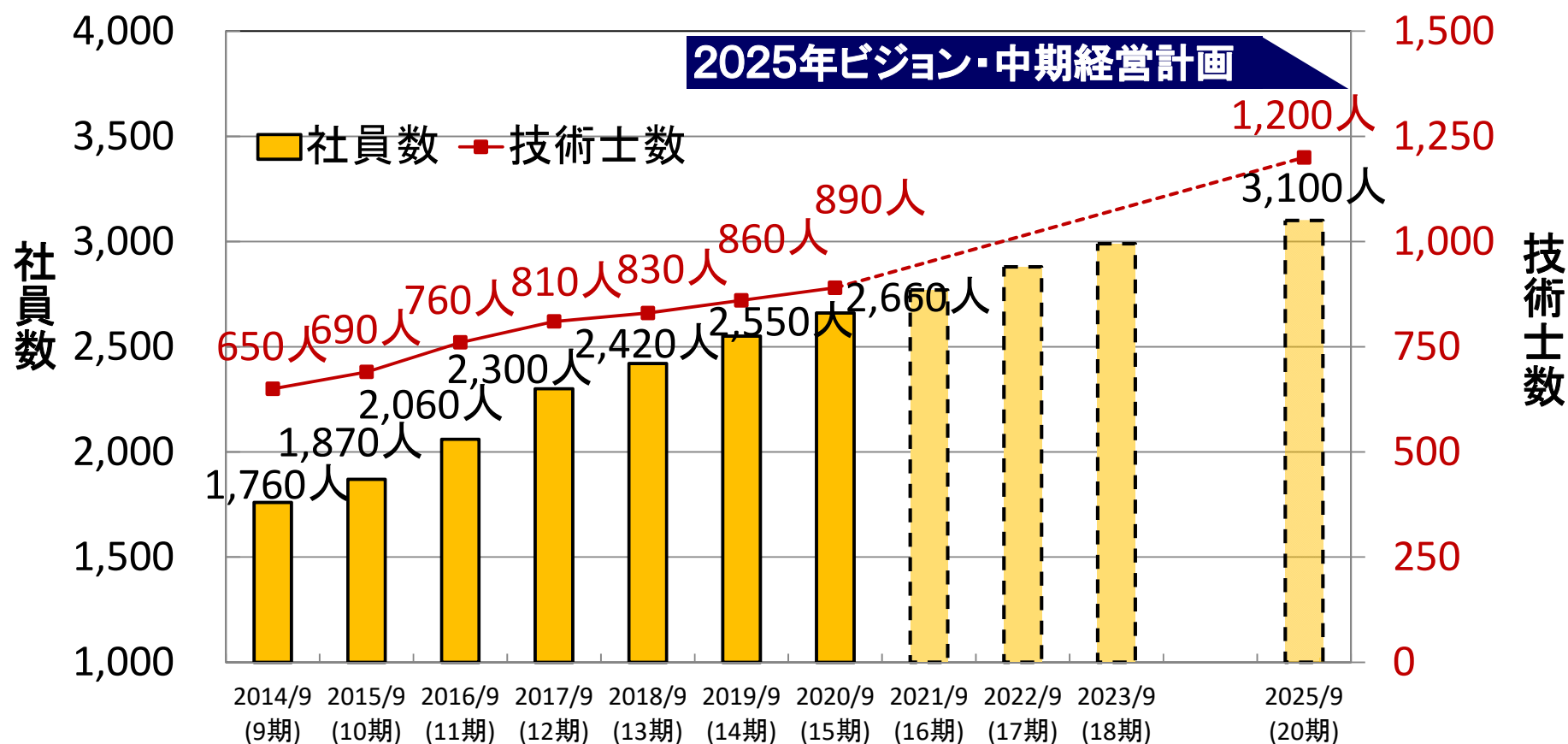
(4)2025年に向けた売上高・営業利益

- 2023年9月期は売上高670億円、営業利益29億円を計画
- 2025年には売上高700億円、営業利益30億円を目指す



(5)2025年に向けた人材

■2025年9月期には、社員数3,100人以上、
技術士1,200人以上、博士80人以上を目指す



(6)配当方針

- 長期的に安定した利益還元のために、
次の事項を総合的に勘案して配当を決定

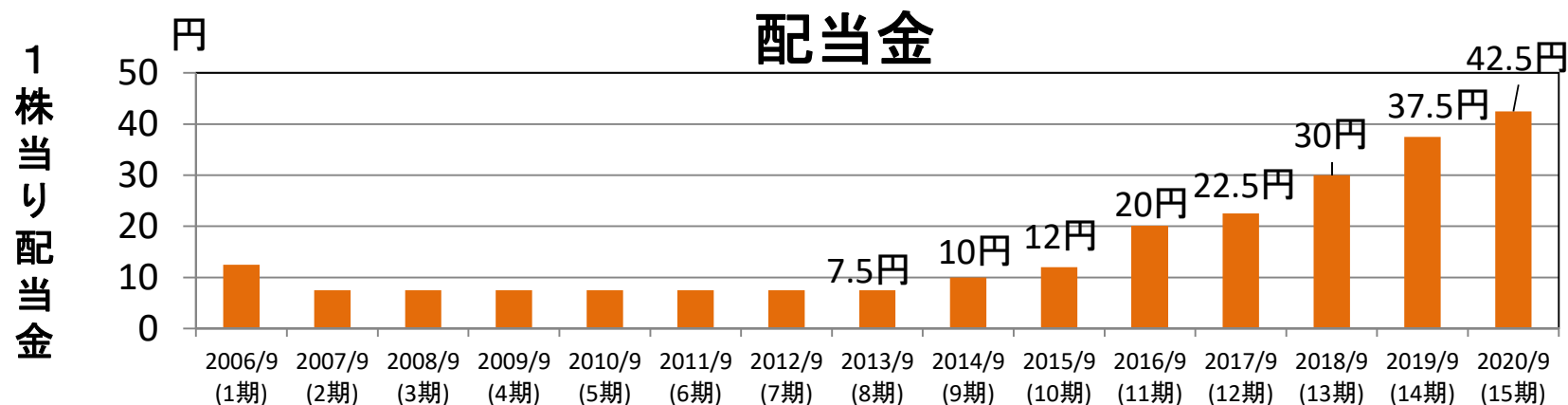
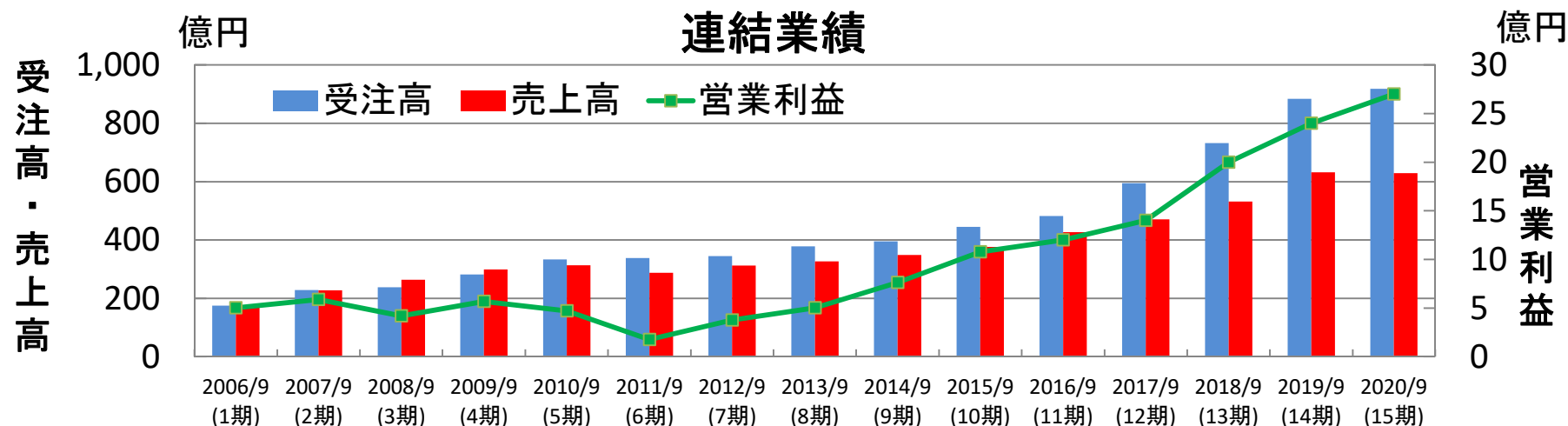
過去の連結業績の推移

今後の連結業績の見通し

配当性向・配当利回り・自己資本比率等の指標

(7)株主配当

- 7期連続の増配中
- 利益の増大とともに、配当金も増額



(8)自己株式の取得状況

- 2021年2月に決定した自己株式の取得について
2022年2月までに20万株を取得予定
- 2021年4月末まで55,700株(取得株式数の上限比28%)取得

	取締役会決議 (2021年2月14日)	取得状況 (2021年4月末)
取得株式数	200,000株 (上限)	55,700株 (28%)
取得価額の総額	540百万円 (上限)	138百万円 (26%)

取得状況のカッコ内は2021年2月14日付取締役会決議の上限に対する比率を示す。

2025年。そして、その先の未来へ。

これからも私たちは、『社会価値創造企業』として
“世界の人々の豊かなくらしと夢の創造”
に貢献してまいります。



本資料および本説明会の説明には、当社（連結子会社を含む）の見通し、目標、計画、戦略などの記述が含まれております。これらの記述は、当社が現在入手している情報に基づく判断や仮定に基づいており、将来における当社の実際の業績または展開と異なる可能性があります。

お問い合わせ先



証券コード: 2498



株式会社
オリエンタルコンサルタンツホールディングス

〒151-0071

東京都渋谷区本町3-12-1 住友不動産西新宿ビル6号館

TEL: 03-6311-6641(代) FAX: 03-6311-6642

URL: <https://www.oriconhd.jp/>

(銘柄略称: オリコンHD / 証券コード: 2498)

問合せ 統括本部 森田 信彦

e-mail: ir@oriconhd.jp

Appendix



(1)業界での地位①

業界上位10社に当社グループ会社が2社

建設コンサルタント部門売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	日本工営	53,627	+3.4%
2	パシフィックコンサルタンツ	49,099	—
3	建設技術研究所	42,316	+7.6%
4	オリエンタルコンサルタンツ	24,442	+3.0%
5	JR東日本コンサルタンツ	22,273	+2.7%
6	八千代エンジニアリング	20,895	△0.5%
7	日水コン	20,427	+9.4%
8	オリエンタルコンサルタンツグローバル	20,308	△11.6%
9	エイト日本技術開発	19,903	+12.4%
10	いであ	18,921	+2.8%

出典：日経コンストラクション(2021. 4. 26)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2021」
「建設コンサルタント部門売上高ランキング」

(2) 業界での地位②

海外市場では当社グループ会社が1位

海外市場(ODA案件+非ODA案件) 売上高ランキング

順位	会社名	売上高 (百万円)	前期比
1	オリエンタルコンサルタンツグローバル	19,937	△11.8%
2	日本工営	18,131	△7.7%
3	片平エンジニアリング・インターナショナル	6,304	+10.9%
4	東電設計	3,148	△22.2%
5	八千代エンジニアリング	2,978	△23.1%
6	パシフィックコンサルタンツ	2,645	△14.0%
7	国際航業	2,245	△8.4%
8	TECインターナショナル	1,464	△7.3%
9	セントラルコンサルタント	1,204	△30.3%
10	日水コン	1,132	△34.4%

出典：日経コンストラクション(2021. 4. 26)「特集 建設コンサルタント決算ランキング2021」

「海外ODA業務売上高ランキング」と「海外ODA以外の業務売上高ランキング」を合計した値を弊社にて整理
(海外ODA業務、海外ODA以外のどちらかがランキング外の場合は、ランキング内の方の売上高を記載)

(3)就職ランキング

**マイナビ・日経 2022 年卒大学生就職企業人気ランキング
理系学科系統別(土木・建築系)で20位にランクイン**

【土木・建築系】

対象人数 1,176名

順位	企業名	得票	前年 順位	順位	企業名	得票	前年 順位
1	鹿島建設	94	2	10	ニトリ	52	20
2	一条工務店	86	4	12	東日本旅客鉄道(JR東日本)	48	10
3	大成建設	84	9	13	セキスイハイムグループ	37	22
4	積水ハウス	82	5	14	五洋建設	36	21
5	大林組	81	1	15	旭化成ホームズ	33	13
6	清水建設	68	7	16	東急建設	32	27
6	大和ハウス工業	68	5	17	東海旅客鉄道(JR東海)	31	16
8	竹中工務店	62	3	18	戸田建設	30	13
9	奥村組	53	12	19	都市再生機構(UR都市機構)	29	17
10	住友林業	52	8	20	オリエンタルコンサルタンツ	27	43

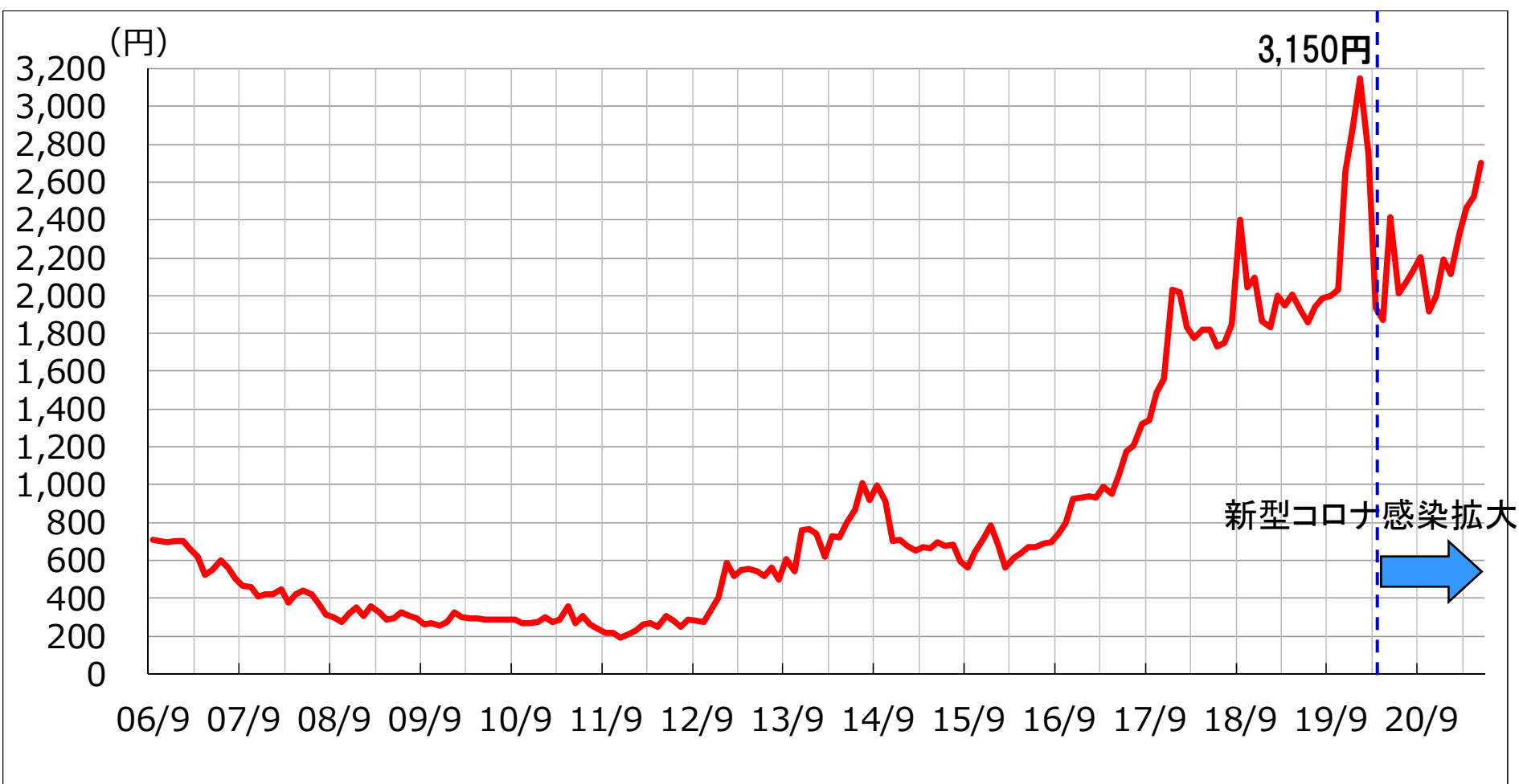
出典:日本経済新聞(2021 年 4 月 9 日付)及び「マイナビ 2022」

「2022 年卒マイナビ大学生就職企業人気ランキング」理系学科系統別/土木・建築系 上位 20 社

引用データ:マイナビ 2022:https://job.mynavi.jp/conts/2022/tok/nikkei/ranking22/rank_system.html

(4) 株価の推移

新型コロナウイルス感染拡大前には3,000円超え



(5)株主優待制度の拡充

2020年6月末より、株主優待制度を拡充

当社株式の保有株式数、保有期間に応じて、**クオカード**を贈呈

保有株式数	拡充前	2020年6月末拡充後
100株以上 600株未満	500円分	
600株以上 1,000株未満	3,000円分	
1,000株以上	5,000円分	保有期間5年未満 5,000円分 保有期間5年以上 10,000円分

※毎年6月末日現在、当社株式1単位(100株)以上を1年以上継続して
保有されている株主様が対象

(6)財務指標等

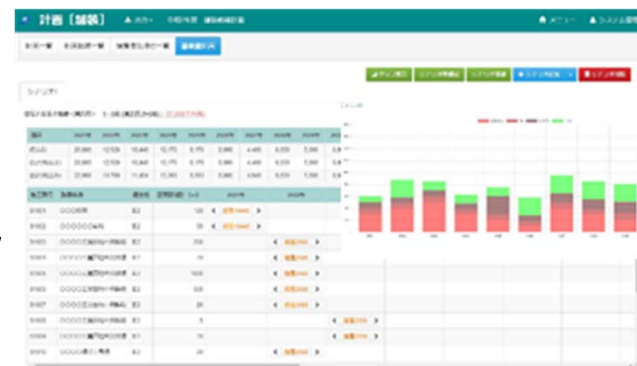
	単位	2017/9 (12期)	2018/9 (13期)	2019/9 (14期)	2020/9 (15期)
営業利益率	%	3.0	3.7	3.8	4.3
自己資本純利益率(ROE)	%	10.7	11.3	13.2	13.5
総資産経常利益率(ROA)	%	4.8	5.2	5.1	5.7
自己資本比率	%	28.8	24.9	25.5	25.2
有利子負債	百万円	1,319	993	2,622	1,231

(7)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例①

<国内事業(インフラ整備・保全(道路系))>

■「インフラマネジメント支援システム(橋梁版、舗装版)」の開発

- ・維持管理のマネジメントを最適化する
「インフラマネジメント支援システム
(橋梁版、舗装版)」を開発
- ・維持管理領域におけるデジタル化を目指し、DX事業の一環として推進



システムの画面イメージ

■「名塩道路城山トンネル」業務がi-Construction大賞 優秀賞を受賞

- ・トンネル全体を3次元モデル化し、構造の妥当性を検証、補助工法の削減を検討
- ・3次元データをVRで「見える化」し、関係機関や地元住民との合意形成に活用することで、事業推進の円滑化に貢献



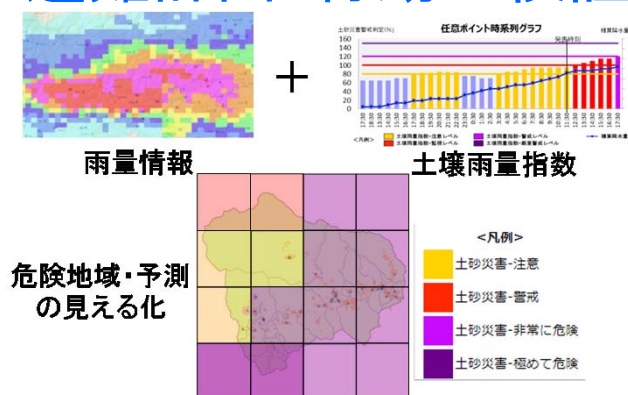
道路計画シミュレーションイメージ

(7)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例②

<国内事業(インフラ整備・保全(水系)・防災)>

■「土砂災害警戒情報支援システム」の開発と避難計画・行動の検証

- ・(株)ハレックス様と開発した「土砂災害警戒情報支援システム」を一昨年の4月から東京都奥多摩町に導入し、地域住民の避難誘導に関する情報提供の訓練を実施
- ・さらに、避難訓練を実施し、情報伝達および垂直避難行動の実効性を検証



土砂災害警戒情報支援システムイメージ

■防災事業にAIとICTを活用し、新たな価値を提供

- ・ドローンで撮影した空中写真を活用し、AI技術を用いた石礫の自動判読システムを(株)スカイマティクス様と共同開発
- ・国土交通省関東技術事務所にて、12月から本システムが展示予定であり、今後のさらなる事業拡大に期待



AIでの礫判読結果を重ねたオルソフォト

(8)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例③

<国内事業(交通(高度化・総合化))>

■AI技術を活用した安全で快適な交通環境づくり

- ・AI、ビッグデータ等の最新のデジタル技術も活用し、有効な交通事故対策や渋滞対策の立案など、安全で快適な移動を実現し、安心して暮らせるまちづくりに貢献



ドラレコのカメラ映像から車両等を自動認識

<国内事業(地方創生)>

■南アルプス山岳観光予約システムを開発(観光DXを推進)

- ・南アルプス市観光協会様と連携しシステムを開発、2021年5月より運用を開始
- ・新型コロナウイルス感染症対策や観光利便性向上等の課題解決、地方創生に向けた取組みを推進



南アルプス山岳観光予約システムの画面イメージ

(9)DX(デジタルトランスフォーメーション)の取組み例④

＜海外事業(スマートシティ開発事業)＞

■マニラ首都圏南北通勤線延伸 TOD開発(フィリピン国)

- ・都市鉄道沿線に「公共交通指向型都市開発(TOD)」を推進し、効率的で利便性の高いまちづくりを実現
- ・今後、リアルタイムGISを活用した情報共有システムの開発、都市空間からのストリームデータの見える化等を推進



都市開発イメージ

＜海外事業(BIM事業)＞

■フィリピン国鉄道事業で全路線へのBIM導入を実施(フィリピン国)

- ・フィリピン国での鉄道事業において全路線へのBIM導入を実施し、次世代O&Mの取り組みを推進
- ・今後、その他の鉄道事業や 道路、建築事業においても BIMの導入を展開

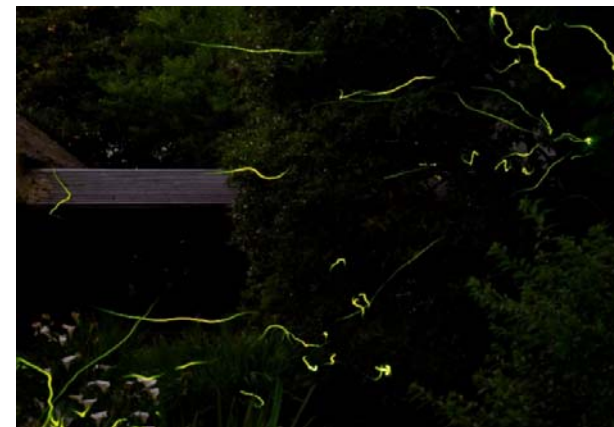


BIM設計イメージ(駅)

(10)ESG投資への取り組み例①(環境(Environment))

■開成町の魅力向上、環境保全等に貢献(神奈川県開成町)

- ・指定管理事業の瀬戸屋敷で、ホタルの再生に向けた飼育や環境学習、見学会など、グリーンインフラの取り組みを推進
- ・子会社瀬戸酒造店の敷地内にて、ホタルの成虫の飛翔を確認、今後も成虫から生まれた幼虫の飼育を継続



瀬戸屋敷で乱舞するホタル

■小田原の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献(神奈川県小田原市)

- ・『冬みず田んぼカモ米プロジェクト』により、小田原市の環境保全、農業振興、地域活性化に貢献
- ・地域の方々とともに、①農業体験、②生き物観察会、③かまどでお米を炊いて食べるイベントを開催



農業体験イベント(田植え)

(11)ESG投資への取り組み例②(社会(Social))

■社会的責任を果たすために、様々なCSR活動を推進

- ・当社グループでは、毎年4月に本社所在地における地域社会への貢献活動の一環として、2002年より継続的に代々木公園の清掃を実施(2020年、2021年は新型コロナウイルス感染症拡大のため中止)
- ・その他、グループ各社の各拠点にて、河川清掃や道路清掃、地域のCSR活動(地域清掃等)などを実施



毎年100名超が参加



株式会社
オリエンタルコンサルタンツホールディングス

■3ヶ国に対し、新型コロナウイルスに対する社会貢献を実施

- ・ミャンマー国鉄の本社には、マスク4万枚を寄贈
- ・インド国には、インド首相府が設立した「首相の市民支援と緊急事態救済基金」への寄付を昨年、今年の2回実施
- ・マダガスカル国には、アツィナナナ県コロナウイルス対策オペレーション指令センター(CRCCO)に対し、食料品など緊急支援品の寄付を実施



上段:ミャンマー国鉄 贈呈式の様子
下段:マダガスカル国 贈呈式の様子



株式会社 オリエンタルコンサルタンツグローバル